

市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事 (その2)

図面リスト

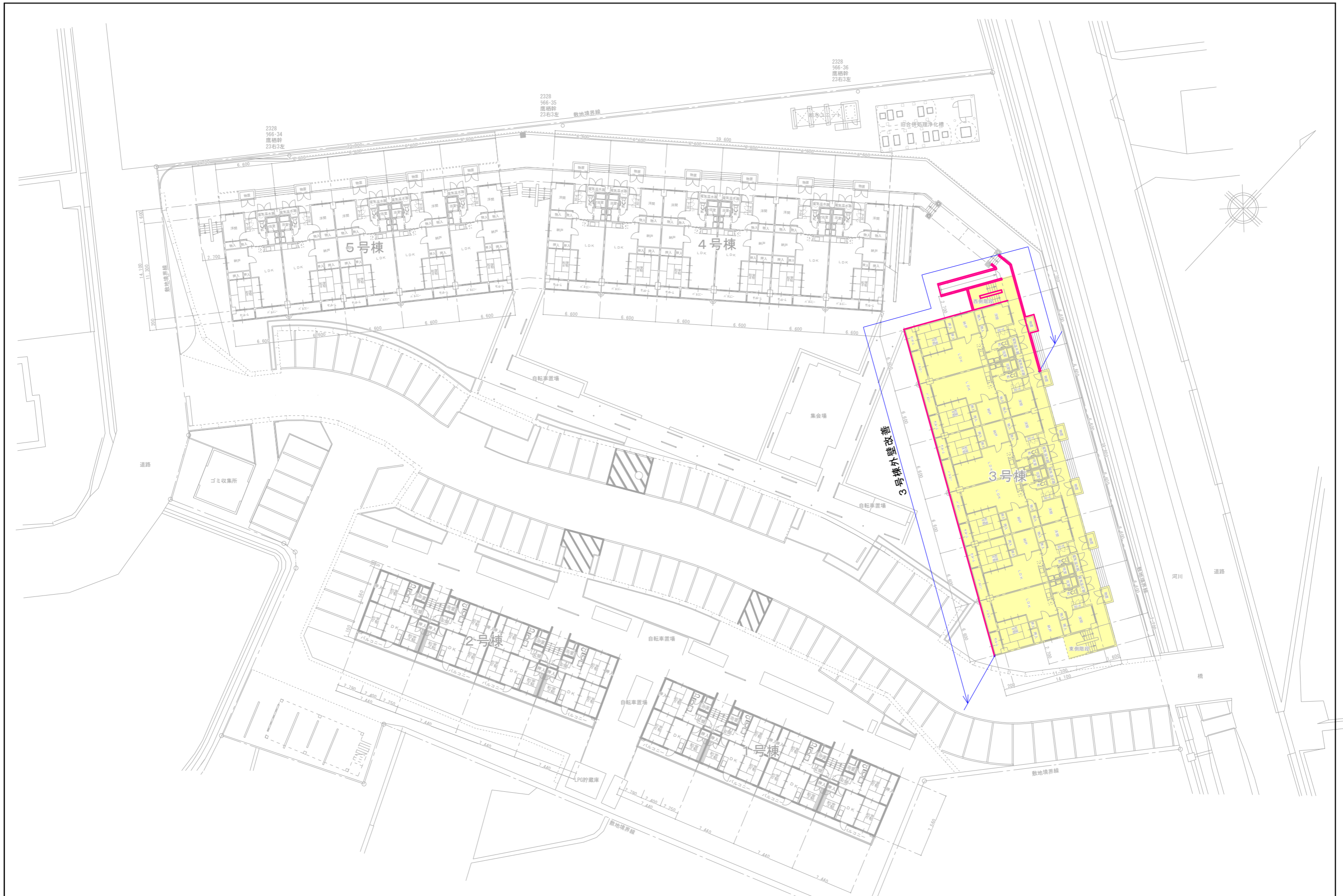
図番	図名	縮尺
01	表紙／図面リスト	
02	特記仕様書(1)	
03	特記仕様書(2)	
04	特記仕様書(3)	
05	配置図	1:400
06	工事概要／1階平面図	1:150
07	2階平面図	1:150
08	3階平面図	1:150
09	北側立面図	1:150
10	西側立面図	1:150
11	南側立面図	1:150
12	廊下手摺壁展開図	1:150
13	矩計図(1) (既設参考図)	
14	矩計図(2) (既設参考図)	
15	矩計図(3) (既設参考図)	
16	西側階段詳細図 (既設参考図)	
17	平面詳細図 (既設参考図)	
18	雑詳細図 (既設参考図)	

表紙共18枚

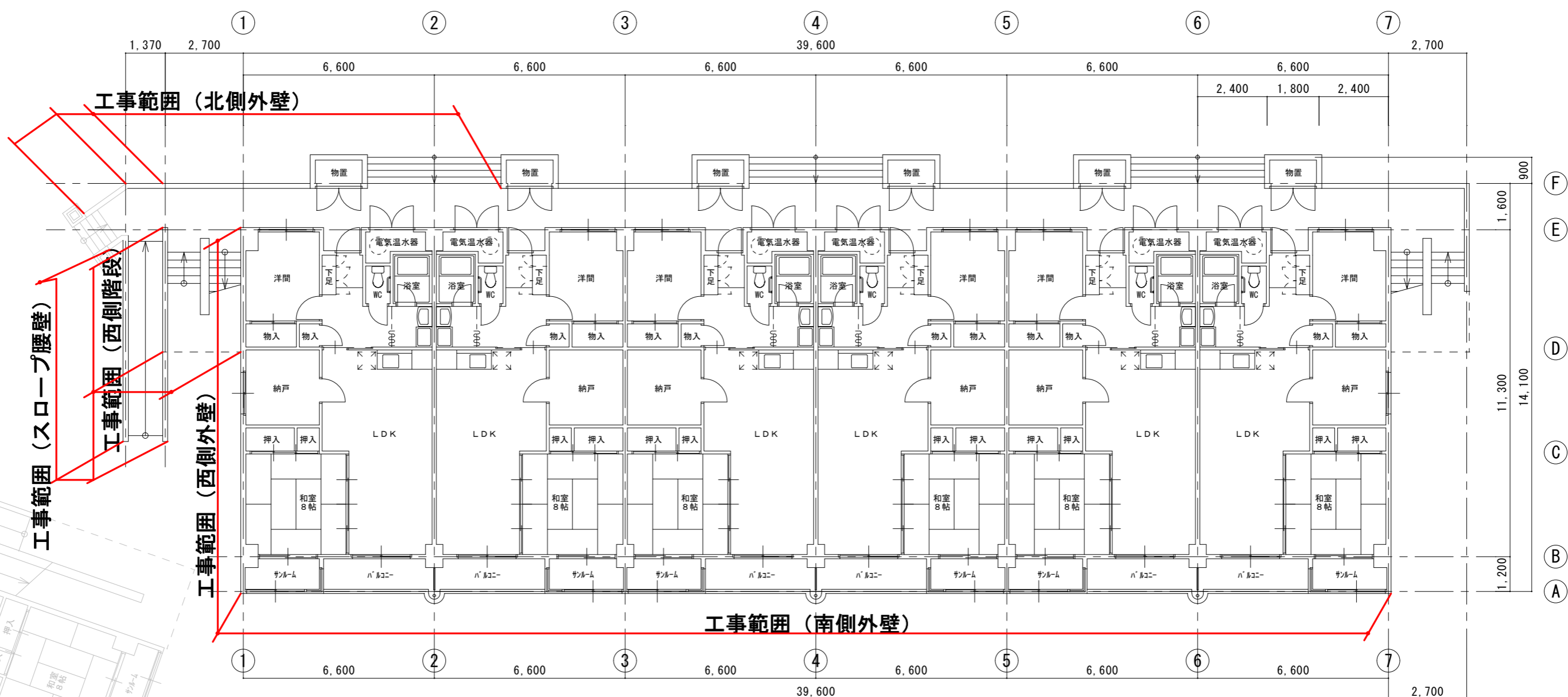
特記事項		工事名	市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月	No.	01
		図名	表紙／図面リスト	製図		縮尺			

3 防水改修工事	1 アスファルト防水	[3.1.4][表3.1.1][3.3.3][表3.3.3~表3.3.10]	防水改修工法の種類 新設防水工法の種類	施工箇所 新設防水工法の種類	備考
	2 改質アクリル樹脂防水	[3.1.4][表3.1.1][3.4.2][3.4.3][表3.4.1][表3.4.2][表3.4.3]	防水改修工法の種類 新設防水工法の種類	施工箇所 新設防水工法の種類	備考
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.1.4][表3.1.1][3.5.2][3.5.3][表3.5.1]	防水改修工法の種類 新設防水工法の種類	施工箇所 新設防水工法の種類	備考
	4 塗膜防水	[3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1]	防水改修工法の種類 新設防水工法の種類	施工箇所 新設防水工法の種類	備考
	5 脱気装置	[3.3.3][表3.3.8][3.4.3][表3.4.2][3.5.3][3.6.3]	防水改修工法の種類 新設防水工法の種類	施工箇所 新設防水工法の種類	備考
6 シーリング	7 とい	[3.8.2][表3.8.1]	材種	備考	
	8 アルミニウム製止水	[3.9.2][3.9.3][表3.9.1]	材種	備考	
	9 外壁改修工事	[1.5.2]	調査範囲	調査内容	
	10 外壁改修工事	[4.2.2]	可とう性エポキシ樹脂	引張り接着性	
	11 外壁改修工事	[4.2.2]	ポリアセチレン樹脂	引張り接着性	
7 タイル張り仕上げ外壁改修工事	12 既存タイル張りの撤去	[4.1.4][2.2][4.4.10][4.4.15][表4.4.3][表4.4.4]	モルタルを撤去しない場合	モルタルを撤去する場合	
	13 ひび割れ部改修工事	[4.1.4][2.2][4.3.4][4.5.5]	ひび割れ部の種類	ひび割れ部の寸法	
	14 浮き部改修工事	[4.1.4][2.2][4.3.4][4.5.5]	浮き部の種類	浮き部の寸法	
	15 磁器質タイル張り	[4.2.2][4.5.7][4.5.8]	タイルの種類	タイルの寸法	
	16 磁器質タイル張り	[4.2.2][4.5.7][4.5.8]	タイルの種類	タイルの寸法	
8 タイル張り仕上げ外壁改修工事	17 既存タイル張りの撤去	[4.1.4][2.2][4.3.4][4.5.5]	タイルの種類	タイルの寸法	
	18 ひび割れ部改修工事	[4.1.4][2.2][4.3.4][4.5.5]	ひび割れ部の種類	ひび割れ部の寸法	
	19 浮き部改修工事	[4.1.4][2.2][4.3.4][4.5.5]	浮き部の種類	浮き部の寸法	
	20 磁器質タイル張り	[4.2.2][4.5.7][4.5.8]	タイルの種類	タイルの寸法	
	21 磁器質タイル張り	[4.2.2][4.5.7][4.5.8]	タイルの種類	タイルの寸法	
9 工事名	22 市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月
	23 特記仕様書(2)	製図	縮尺		
	24 特記仕様書(2)	製図	縮尺		
	25 特記仕様書(2)	製図	縮尺		
	26 特記仕様書(2)	製図	縮尺		

5 建 具 改 修 工 事	1 改修工法	[5.1.3] 改修工法 適用箇所 ・かさね工法 ※建具表による ・撤去工法 ※建具表による	8-2 耐 震 改 修 工 事	1 あと施工アンカーの材料 [8.2.4] ・金属拡張アンカー (耐震補強用) ※接着系アンカー カプセルの種類 ※有機系	9 環 境 配 置 改 修 工 事	1 アスベスト含有建材の石綿含有率測定 ・行う 分析方法 ※ JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ・ 分析結果については、監督職員に報告すること。	
	2 ガラス用フィルム	名 称 種 類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 D1 ・ 品質 JIS A5759による		2 モルタル及びグラウト材 [8.2.10] 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ グラウト材 [8.2.10] ※無収縮グラウト材 プレミックス形及び現場調合形 混和材料 セメント系 (酸化カルシウム及びβカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するものとする) セメント JIS R 5210 (※おひだせり) による普通または早強おひだせりとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する		2 アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定室 ()	分析結果については、監督職員に報告すること。 材料名 採取場所 箇所数 分析方法 ※ 定性分析 ・ 定量分析 ※ 定性分析 ・ 定量分析 ※ 定性分析 ・ 定量分析
6 内 装 改 修 工 事	1 基本要品質 [19.1.2] 特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種	2 改修範囲 [6.1.3] 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 [6.1.3] ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [6.1.3] ※既存のまま ・ 図示の範囲	3 連続繊維シート巻き [8.2.11] 材料・形状 [8.2.11] 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度 (含浸硬化後) ・ 2500N/mm2以上 ・ 3000N/mm2以上 ヤング係数 (含浸硬化後) ・ 2.35×10 ⁵ N/mm 程度 ・ 2.00×10 ⁵ N/mm 以上	3 アスベスト含有建材の処理 アスベスト含有建材の処理 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※湿式集じん装置付き超高压水洗工法 ・ 集じん装置付きグラインダーケレン工法 除去したアスベスト含有吹付け材等の処理 ※密封処理 ・ セメント固化 ・ アスベスト含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ・ 行う ・ アスベスト含有成型板の除去 除去対象範囲 ※図示 ・ アスベスト含有建材除去工事となるため、元請業者は日本産業廃棄物処理振興センターが実施する特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会を終了した者を置くこと 養生方法 ○床 養生シート0.15mm 2重敷き ○床 網羅措置 石綿障害予防規則第6条ただし書による粉じん飛散防止に關し隔離措置と同等の措置と判断できる工法による除去工事にあたるため、隔離措置は不要			
	3 既存床の撤去、下地補修 [6.2.2] ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも) ・ 下地モルタルとも (※図示の範囲 ・ 除去範囲全て) 合成樹脂塗材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目貫工法 [6.2.2] 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6.2.2]				4 既存壁の撤去、下地補修 [6.3.2][4.4.9] 間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修 ※図示 ・ モルタル塗り 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ・ 適用する (範囲は図示) ※AFM3製フカセンを、縦横 200mm 程度の間隔に打ち込み、AFM3等を守る。 ・ 図示	4 あと施工アンカーの施工 [8.11.2] 穿孔前の埋込み配管等の探査 範囲 ※あと施工アンカー施工部分全て ・ 図示 方法 ※探査器により探査し、配管等の位置の量出を行う 探査器の種類 () ・ はつり出しによる	4 断熱材 断熱材は、原則として「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」における特定調達品目を使用する。 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種
7 塗 装 改 修 工 事	1 材料 [7.1.3] 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 壁内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。	2 下地調整 [表7.2.4][表7.2.7] 既存に塗装がなく、新規に塗装を行う場合の下地調整 [表7.2.4][表7.2.7] 下地の種類 下地調整の種類 適用箇所 モルタル面、プラスチック面 R A種 R B種 ※R B種 上記以外全て せっこうボード面、その他ボード面 R A種 R B種 ※R B種 上記以外全て	5 鉄骨の錆止め塗装 [7.3.3][表7.3.3][表7.3.4] 錆止め塗料の種類 ※JIS K 5674 ・ 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 鉄鋼面 A種 B種 C種 見掛けり部分 ※A種 B種 見隠れ部分 A種 B種 亜鉛めっき面 A種 B種 C種 鋼製建具等 ※A種 B種 その他 A種 B種	5 その他			
	2 錆止め塗料塗り [7.3.3][表7.3.3~表7.3.4] 錆止め塗料の種類 ※JIS K 5674 ・ 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 鉄鋼面 A種 B種 C種 見掛けり部分 ※A種 B種 見隠れ部分 A種 B種 亜鉛めっき面 A種 B種 C種 鋼製建具等 ※A種 B種 その他 A種 B種				6 既存コンクリート面の目貫し [8.19.3] 適用範囲 ※既存コンクリートとの打継ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面 目貫らしの範囲 ※柱・梁面 打継ぎ面又は接合面全面の3/4以上 ※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度 目貫らしの程度 ※平均深さ 5~10mm で最大深さ 15mm 程度の凹部を施す		
8 耐 震 体 改 修 工 事 以 外 の	1 あと施工アンカーの材料 [8.2.4] ・金属拡張アンカー ・接着系アンカー カプセルの種類 ※有機系	7 増設・補強工事のコンクリートの打込み [8.19.8][8.21.5] 工法の種類 ・ 流し込み工法 ・ 圧入工法	7 増設・補強工事のコンクリートの打込み [8.19.8][8.21.5] 工法の種類 ・ 流し込み工法 ・ 圧入工法	10 そ の 他			
	2 耐力性塗料塗り (DP) [7.8.1~7.8.4][表7.8.1~表7.8.3] 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 鉄鋼面 A種 B種 C種 ※A種 B種 下地調整は各表の 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 A種又はB種 注意書きによる コンクリート面及び A-1種 B-1種 C-1種 ※A種 B種 押出成形セメント板面 A-2種 B-2種 C-2種 ※A種 B種	8 柱補強 [8.21.5] 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む ・ 図示	9 スリットの施工 [8.22.2] スリット部の配管等の探査 ※探査器により探査し、配管等の位置に量出を行う ・ はつり出し		5 屋上緑化改修工事 [9.6.2] 植栽基盤及び材料 [9.6.2] ・ 屋上緑化軽量システム 定及び地盤の樹根並びに種類等 ※図示 支柱 ・ 設置する (種類 ・ 図示 ・) かん水装置 ・ 設置する (工事区分は図示による) 既存保護層の撤去 ・ 行う		
特記事項	工事名 市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事 (その2)				設計 都市整備課	日付 令和4年11月	No.
	図名 特記仕様書 (3)				製図	縮尺	04

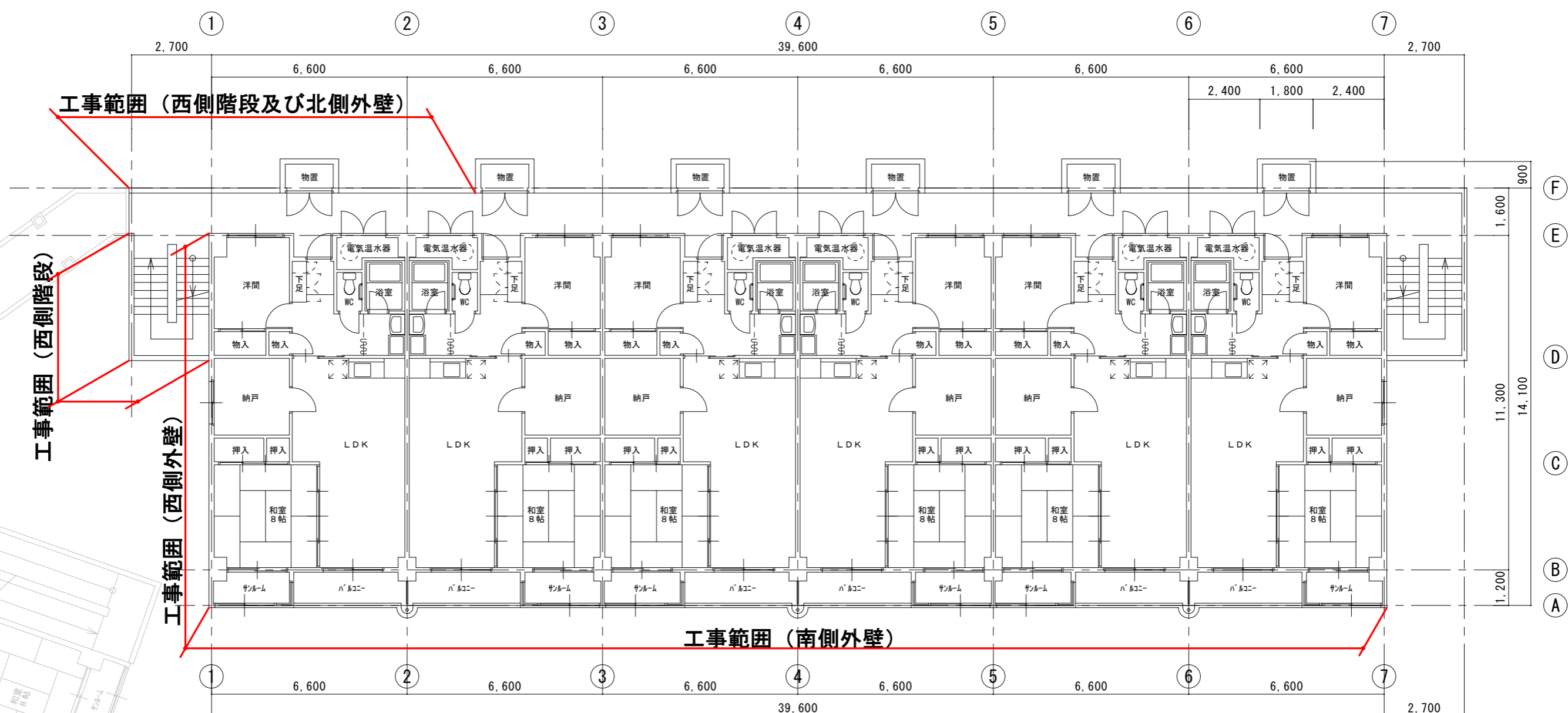


特記事項	工事名	市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月	No.
	図名	配置図	製図		縮尺	1:400(A3) 1:200(A1)	



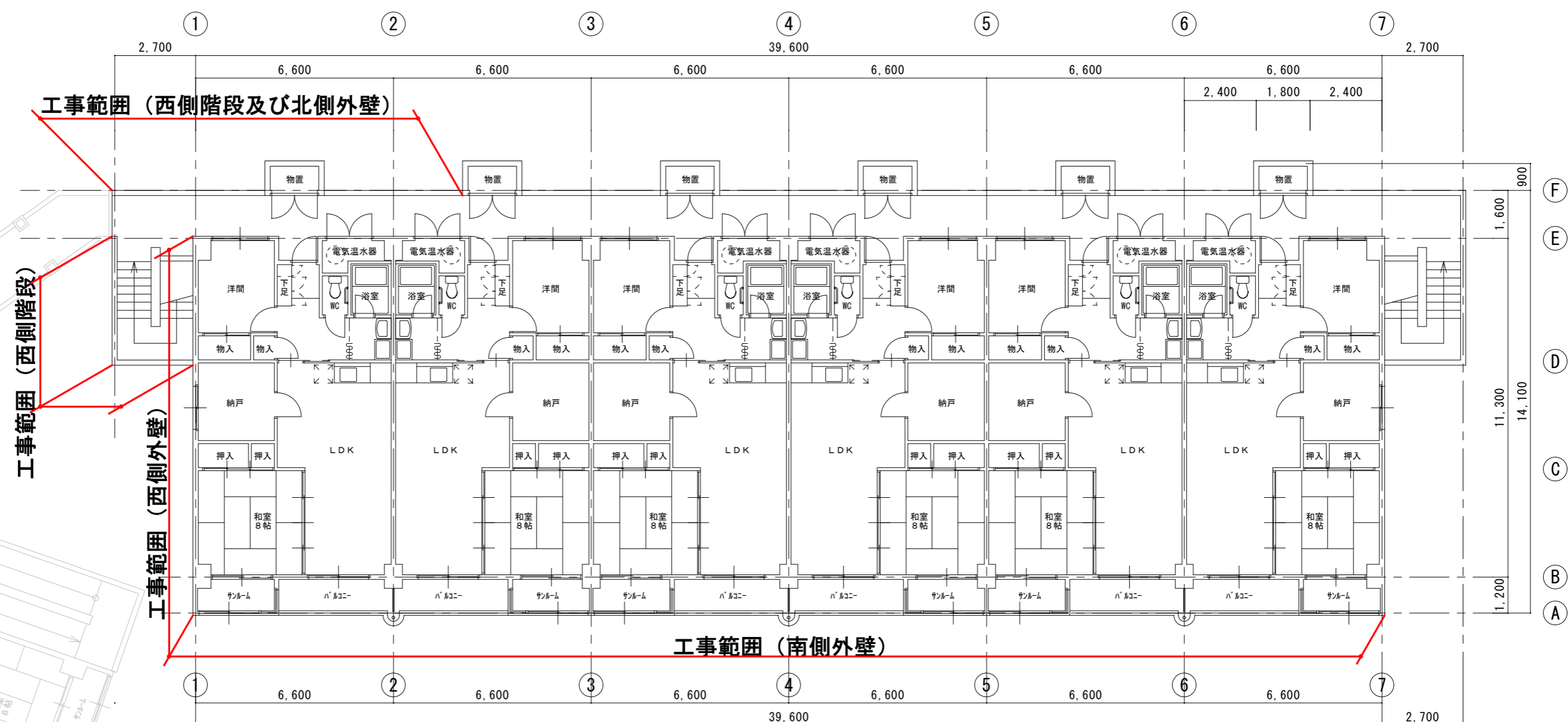
1階平面図 1:150

特記事項	工事名	市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月	No.
	図名	1階平面図	製図		縮尺		



2階平面図 1:150

特記事項	工事名	市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月	No.
	図名	2階平面図	製図		縮尺		



3階平面図 1:150

特記事項	工事名	市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月	No.
	図名	3階平面図	製図		縮尺		

凡例

部 位	既存仕上	改修仕上
外壁 -A仕様-	① コンクリート打放し補修 吹付タイル仕上	防水型複層仕上塗材吹付
外壁 -B仕様-	② コンクリート打放し補修 APクリアー吹付	浸透性改質剤塗布
外壁 -C仕様-	③ 磁器タイル貼	クリーニング (目地浸透性改質剤塗布)
その他	④ 外部物置扉：鋼製建具	外部物置扉のDP塗装塗替 (15戸×1箇所)
	⑤ 換気扇フード	換気扇フードの清掃 (15戸×3箇所)
	⑥ 屋上アスファルト露出防水	屋上清掃
	⑦	仮設郵便箱の設置
	⑧ 破風・鼻隠し：人工木材アクリル塗装	DP塗装塗替
	⑨ 縦樋：硬質塩ビ管	DP塗装塗替

工事概要

① 外壁 -A仕様- 部分		② 外壁 -B仕様- 部分		③ 外壁 -C仕様- 部分	
吹付タイルの吹替		打放しクリアーの補修		磁器タイルのクリーニング	
1) 既存塗膜除去		1) 補修施工数量調査		1) 補修施工数量調査	
2) 補修施工数量調査		2) 水洗い洗浄		2) 水洗い洗浄	
3) クラック補修	設計数量 11.7m	3) クラック補修	設計数量 9.2m	3) クラック補修	設計数量 3.3m
4) 水洗い洗浄		4) 浸透性改質剤塗布		4) 下地浮き補修	設計数量 2.0m ²
5) 下地調整材				5) タイルクリーニング	
6) 防水型複層仕上塗材吹付				6) 目地浸透性改質剤塗布	
7) シーリング打替					

- 既設吹付タイル面：防水型複層仕上塗材吹付
- 既設打放しクリアー面：浸透性改質剤塗布
- 既設磁器タイル面：目地浸透性改質剤塗布
- 鋼製建具塗装塗替

工事範囲



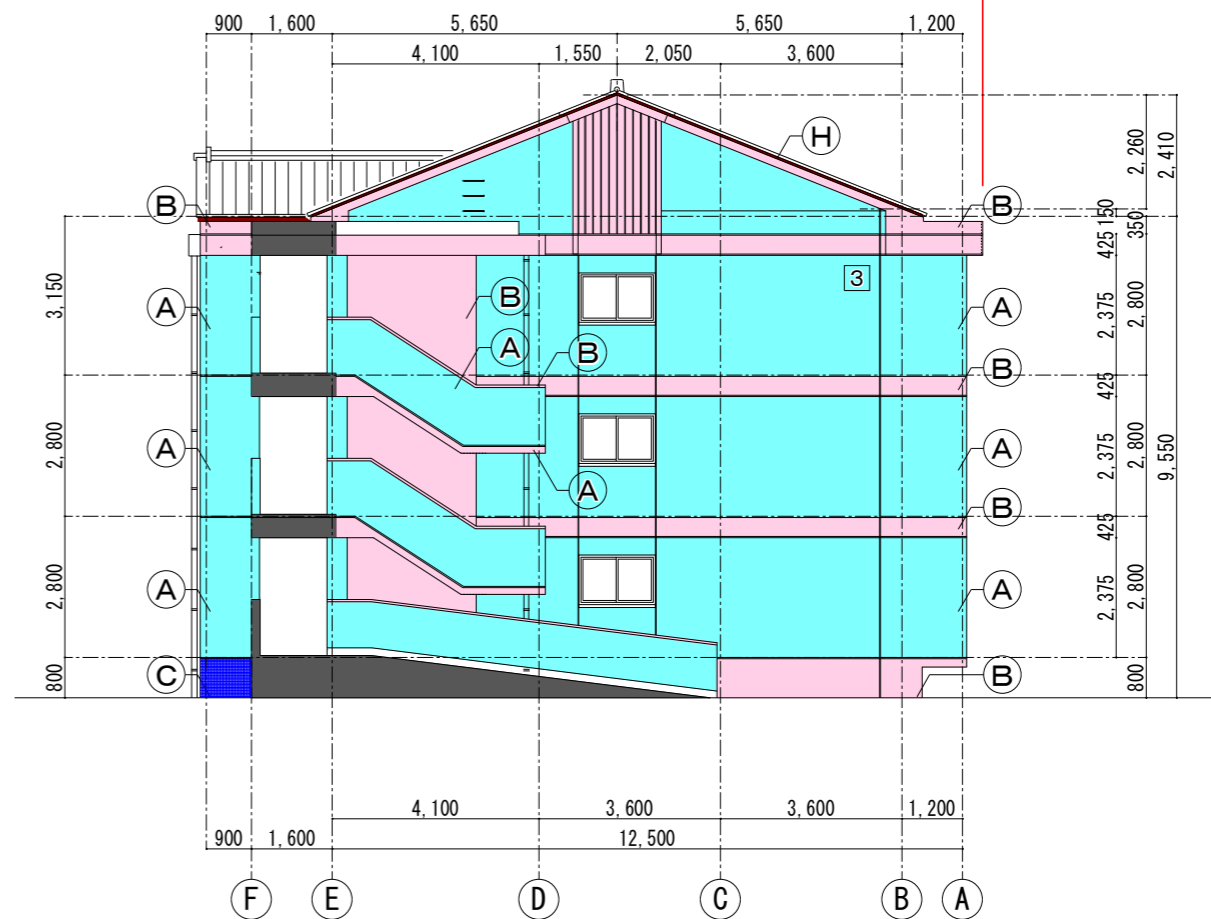
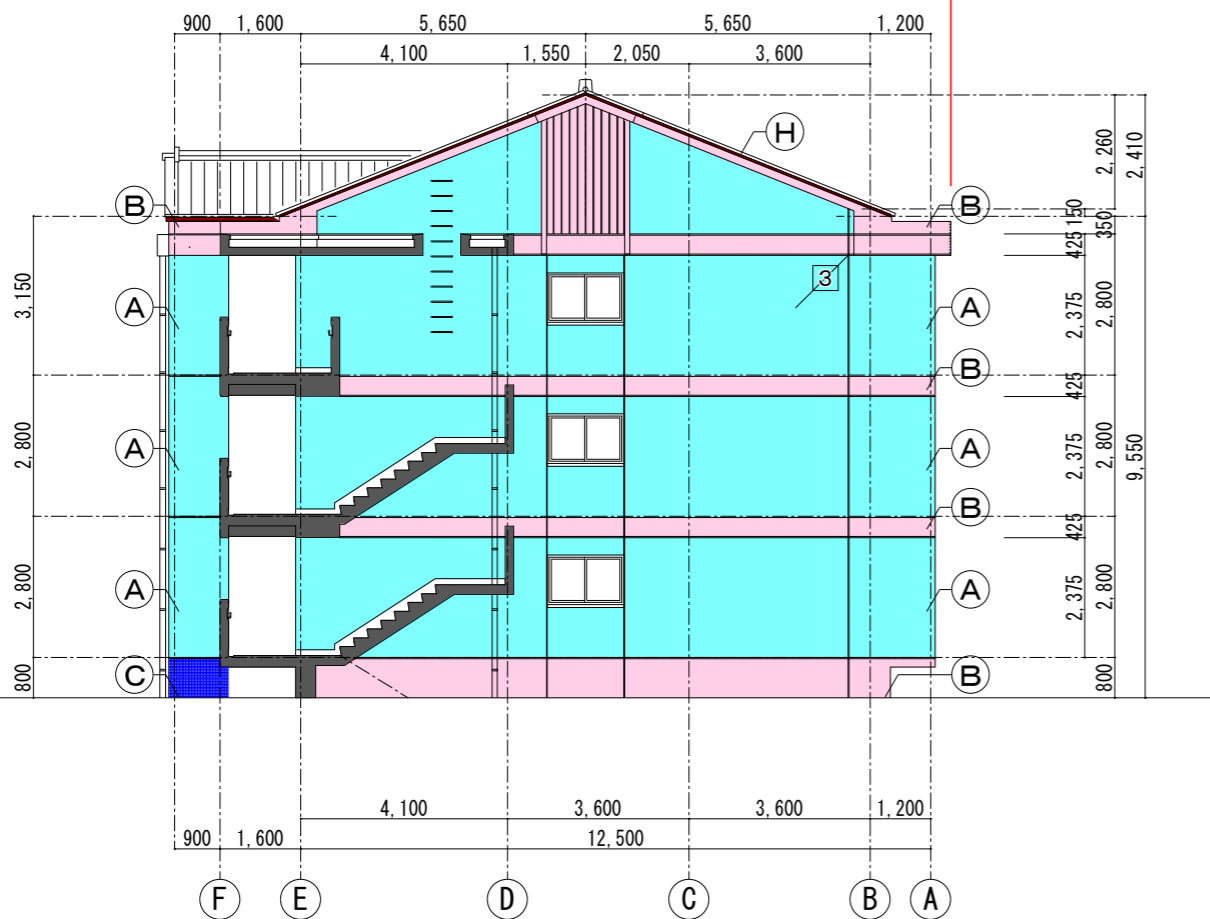
凡例

部 位	既存仕上	改修仕上
外壁 -A仕様-	① コンクリート打放し補修 吹付タイル仕上	防水型複層仕上塗材吹付
外壁 -B仕様-	② コンクリート打放し補修 APクリアー吹付	浸透性改質剤塗布
外壁 -C仕様-	③ 磁器タイル貼	クリーニング（目地浸透性改質剤塗布）
その他	④ 外部物置扉：鋼製建具	外部物置扉のDP塗装塗替（15戸×1箇所）
	⑤ 換気扇フード	換気扇フードの清掃（15戸×3箇所）
	⑥ 屋上アスファルト露出防水	屋上清掃
	⑦	仮設郵便箱の設置
	⑧ 破風・鼻隠し：人工木材アクリル塗装	DP塗装塗替
	⑨ 縦樋：硬質塩ビ管	DP塗装塗替

- 既設吹付タイル面：防水型複層仕上塗材吹付
- 既設打放しクリアー面：浸透性改質剤塗布
- 既設磁器タイル面：目地浸透性改質剤塗布
- 鋼製建具塗装塗替

工事範囲

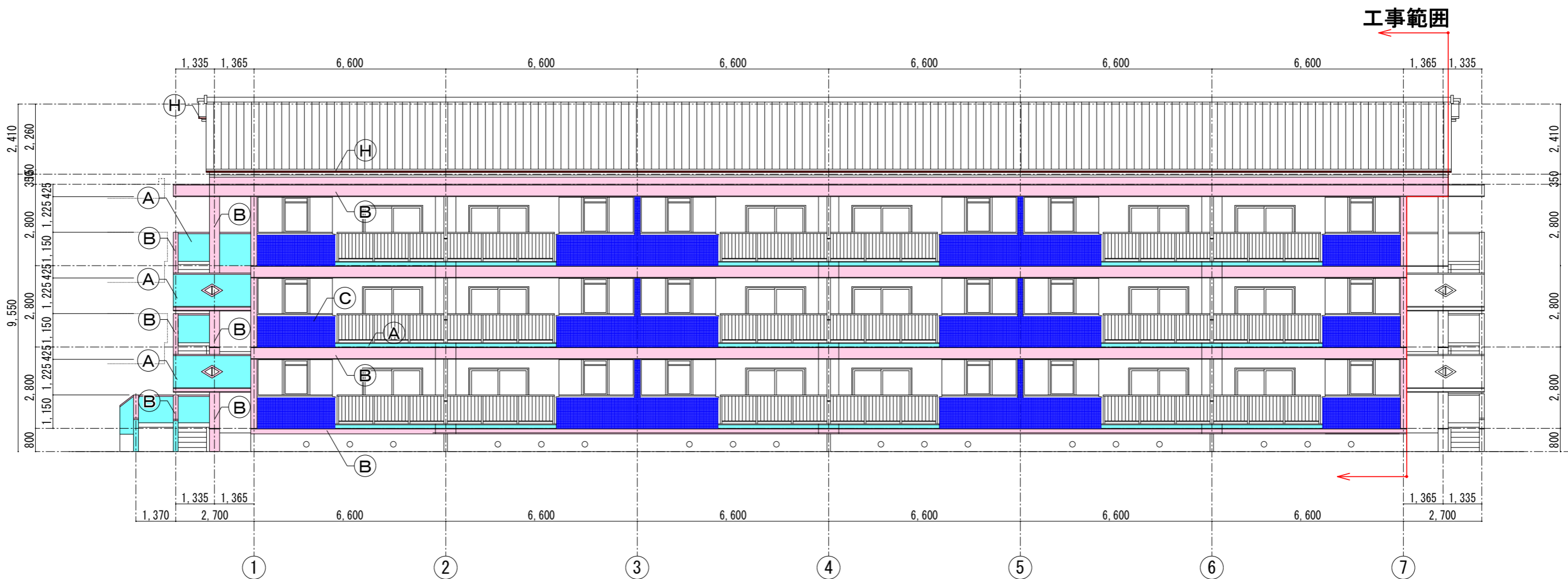
工事範囲



凡例

部 位	既存仕上	改修仕上
外壁 -A仕様-	① コンクリート打放し補修 吹付タイル仕上	防水型複層仕上塗材吹付
外壁 -B仕様-	② コンクリート打放し補修 APクリアー吹付	浸透性改質剤塗布
外壁 -C仕様-	③ 磁器タイル貼	クリーニング（目地浸透性改質剤塗布）
その他	④ 外部物置扉：鋼製建具	外部物置扉のDP塗装塗替（15戸×1箇所）
	⑤ 換気扇フード	換気扇フードの清掃（15戸×3箇所）
	⑥ 屋上アスファルト露出防水	屋上清掃
	⑦	仮設郵便箱の設置
	⑧ 破風・鼻隠し：人工木材アクリル塗装	DP塗装塗替
	⑨ 縦樋：硬質塩ビ管	DP塗装塗替

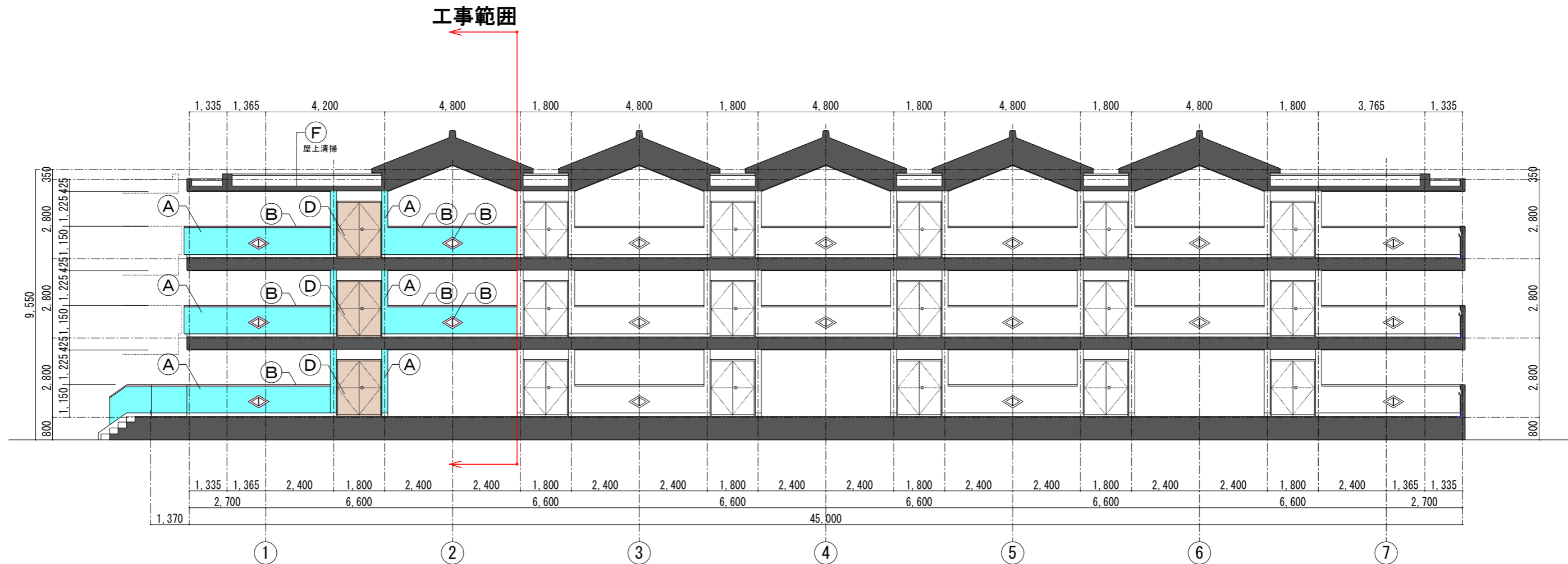
- 既設吹付タイル面：防水型複層仕上塗材吹付
- 既設打放しクリアー面：浸透性改質剤塗布
- 既設磁器タイル面：目地浸透性改質剤塗布
- 鋼製建具塗装塗替

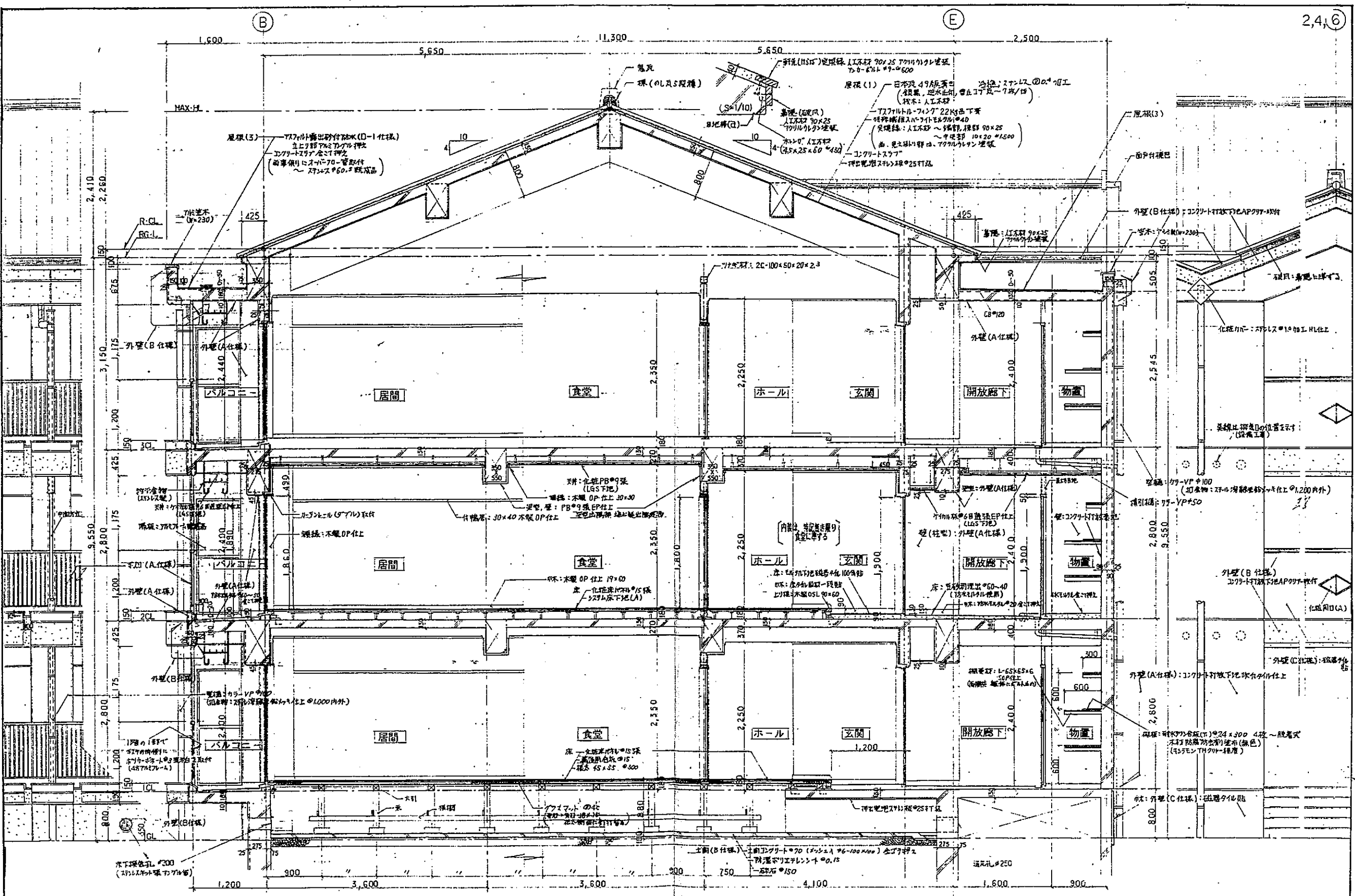


凡例

部 位	既存仕上	改修仕上
外壁 -A仕様-	① コンクリート打放し補修 吹付タイル仕上	防水型複層仕上塗材吹付
外壁 -B仕様-	② コンクリート打放し補修 APクリアー吹付	浸透性改質剤塗布
外壁 -C仕様-	③ 磁器タイル貼	クリーニング（目地浸透性改質剤塗布）
その他	④ 外部物置扉：鋼製建具	外部物置扉のDP塗装塗替（15戸×1箇所）
	⑤ 換気扇フード	換気扇フードの清掃（15戸×3箇所）
	⑥ 屋上アスファルト露出防水	屋上清掃
	⑦	仮設郵便箱の設置
	⑧ 破風・鼻隠し：人工木材アクリル塗装	DP塗装塗替
	⑨ 縦樋：硬質塩ビ管	DP塗装塗替

- 既設吹付タイル面：防水型複層仕上塗材吹付
- 既設打放しクリアー面：浸透性改質剤塗布
- 既設磁器タイル面：目地浸透性改質剤塗布
- 鋼製建具塗装塗替

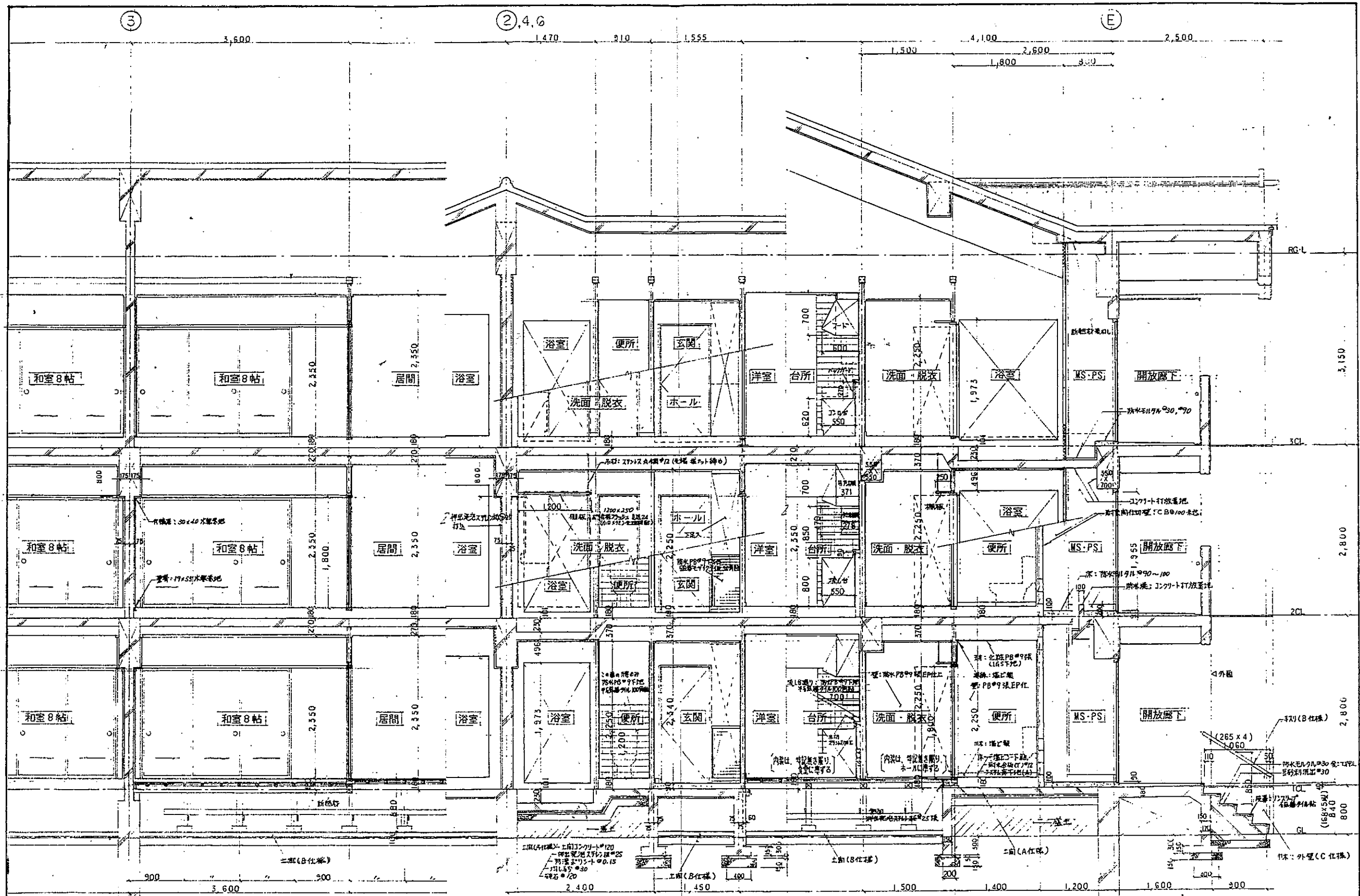




註記 (特記欄を限り下記する。)

- ・ 屋根スラブ、外面壁、外面窓の屋内向面は、坪量減法で厚み25mmとする。(2.4.6)
- ・ 1階床下地材(珪砂、木片、ワキ材等)は、70mm厚のLGSとする。
- ・ 床作部：和室等には、不燃床、その他は不燃OP仕上げとする。
- ・ 3.7m-1階打厚：側面(壁、梁等)→25、見上(3.7m)→10
- ・ 天井→天井面は、タテ張り用電線(75)は75mm厚のLGSとする。
- ・ 各室内部の取付く壁面には、取付用の積層板を貼付する。

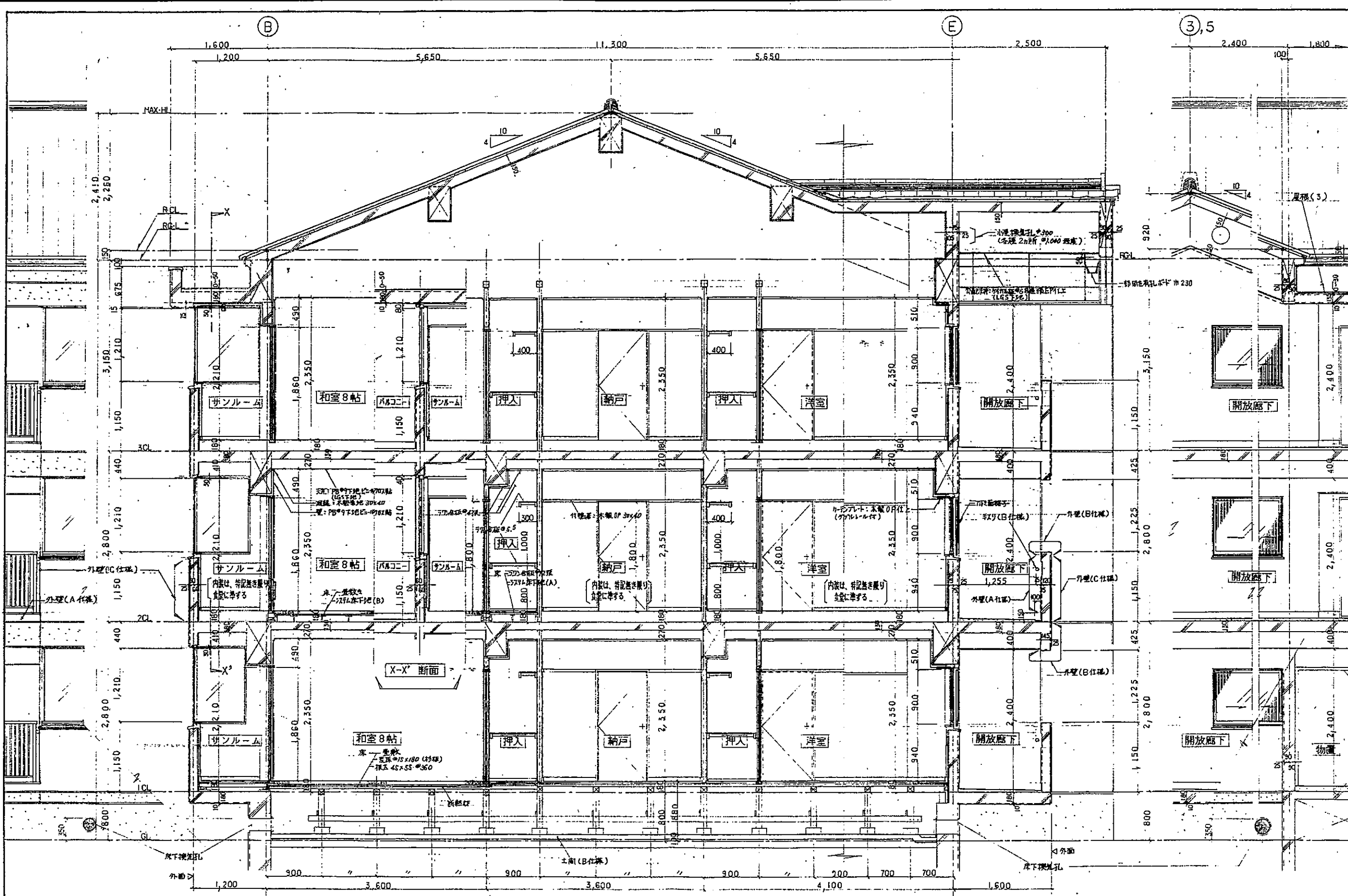
工事名	堺市営東區栖園地建設工事 3号棟建築主体工事	日付	報告	東區栖園地設計室	No.
図面名	矩計図 1	縮尺	製図	1級建築士 第83913号 渡田 勇	A-21



註記
 ・ 耐水間仕切 () : コンクリートブロックφ100 (中壁部にモルタルを塗り) ~ 1時間耐火
 ・ 浴室廻り躯体(277.4)は、床型スチレン社設計打合せ。

工事名	横浜市営東馬場団地建設工事 3号棟建築主体工事	日付	担当	東馬場団地設計室	No
図面名	矩計図 2	縮尺	製図	1級建築士 第83913号 沢田竜男	A-22

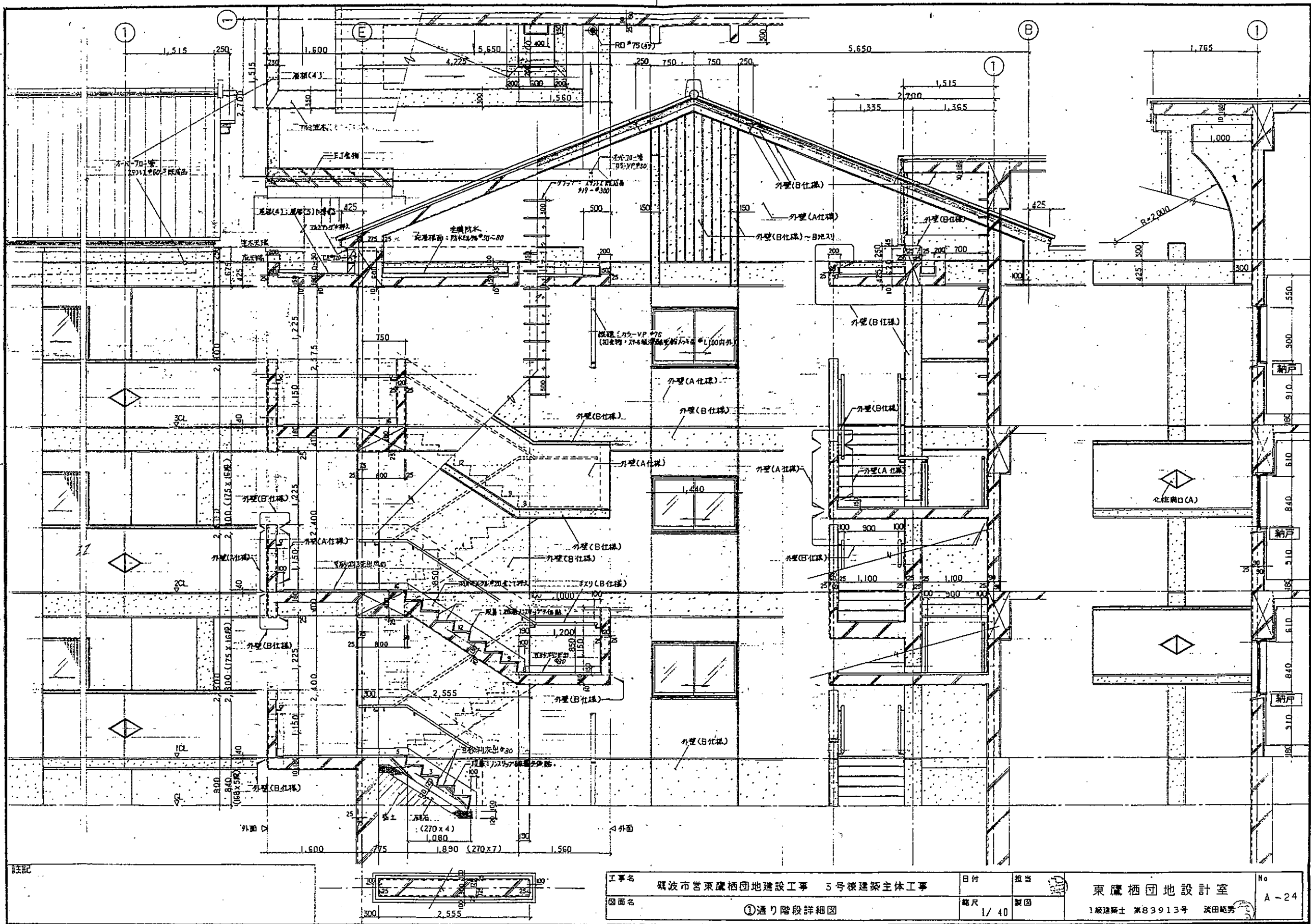
特記事項	工事名	市営住宅東馬場団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月	No
	図名	矩計図(2)(既存参考図)	製図		縮尺		14



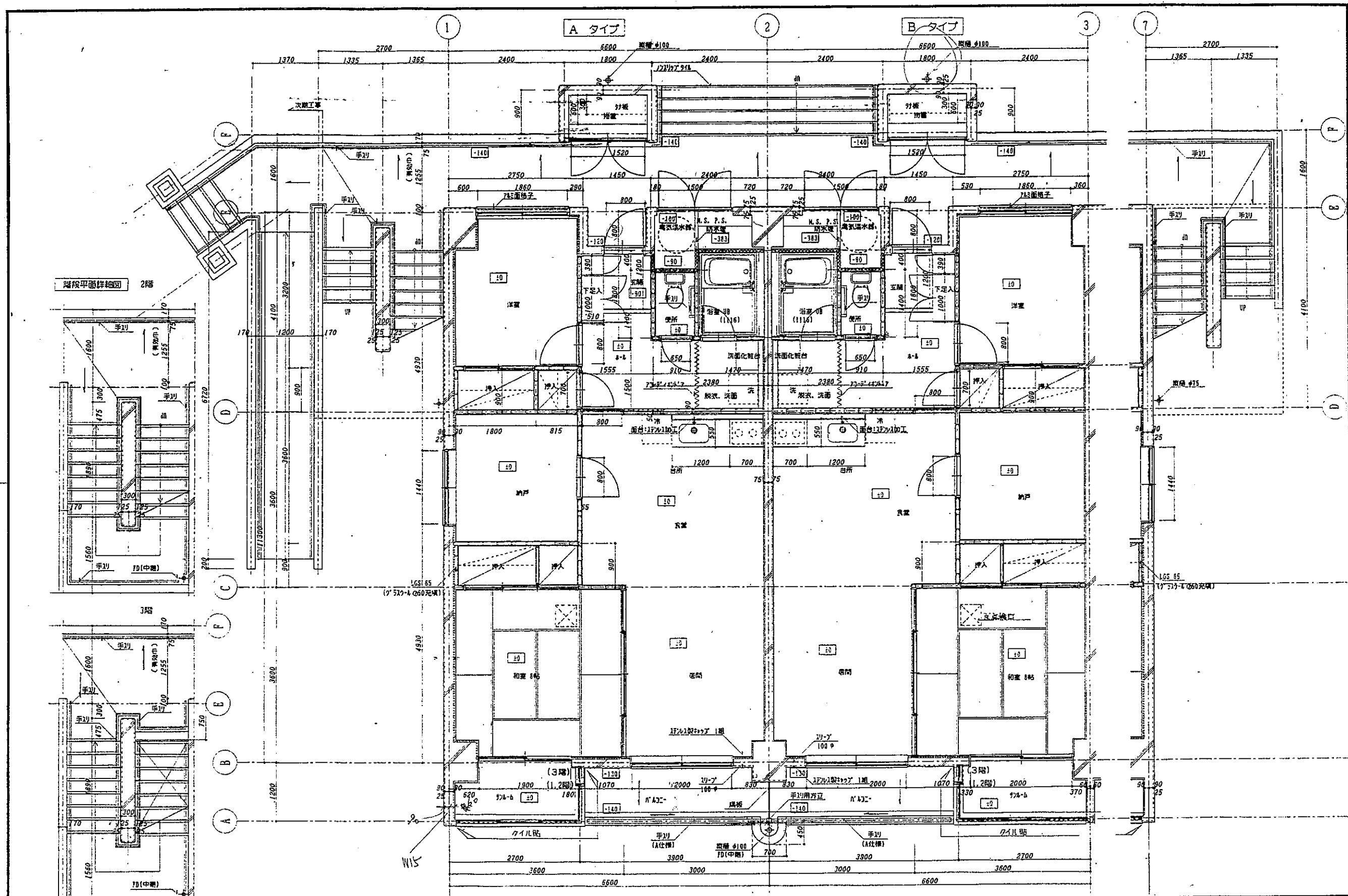
註記
 特記無し限り 延計詳細図(1)を参照のこと。

工事名 磯波市宮東廣栖団地建設工事 3号棟建築主体工事	日付 縮尺 1/40	担当 製図 東廣栖団地設計室 1級建築士 第83913号 渡田龍男	No A-23
図面名 延計図 3			

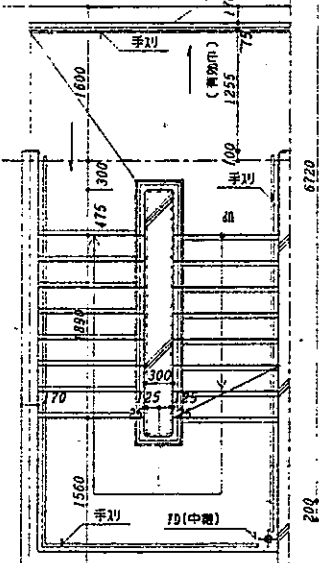
特記事項 特記無し限り 延計詳細図(1)を参照のこと。	工事名 市営住宅東廣栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計 都市整備課	日付 令和4年11月	No. 15
	図名 延計図(3)(既存参考図)	製図 縮尺		



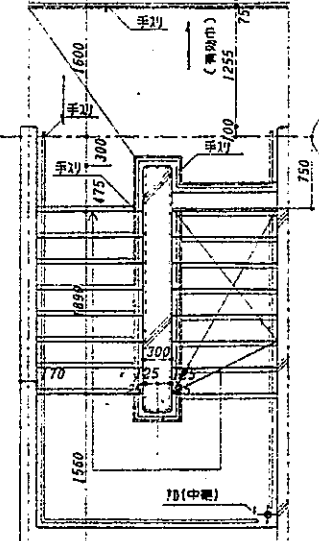
特記事項	工事名	市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月	No. 16
	図名	西側階段詳細図(既存参考図)	製図		縮尺		



階段平面詳細図 2階



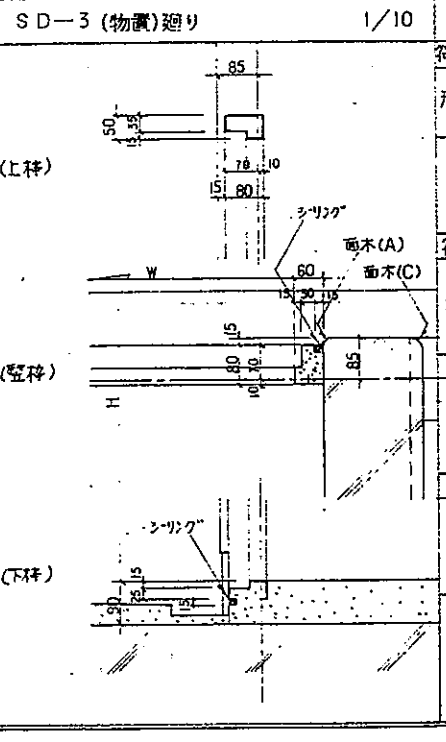
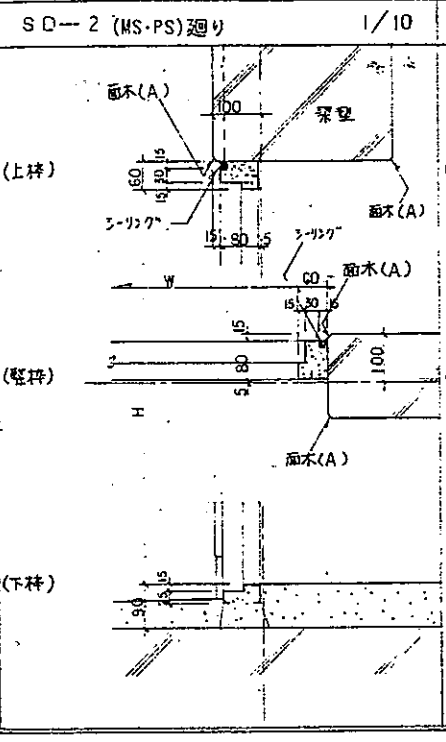
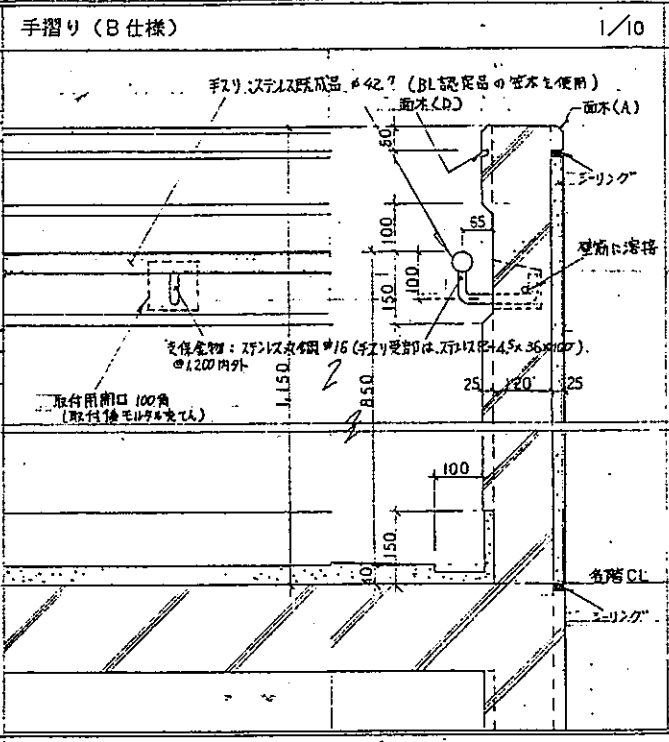
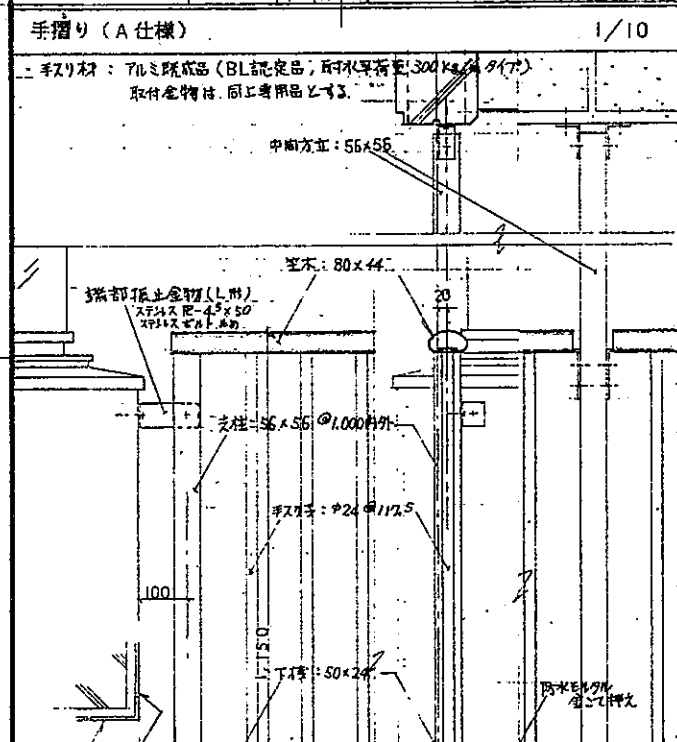
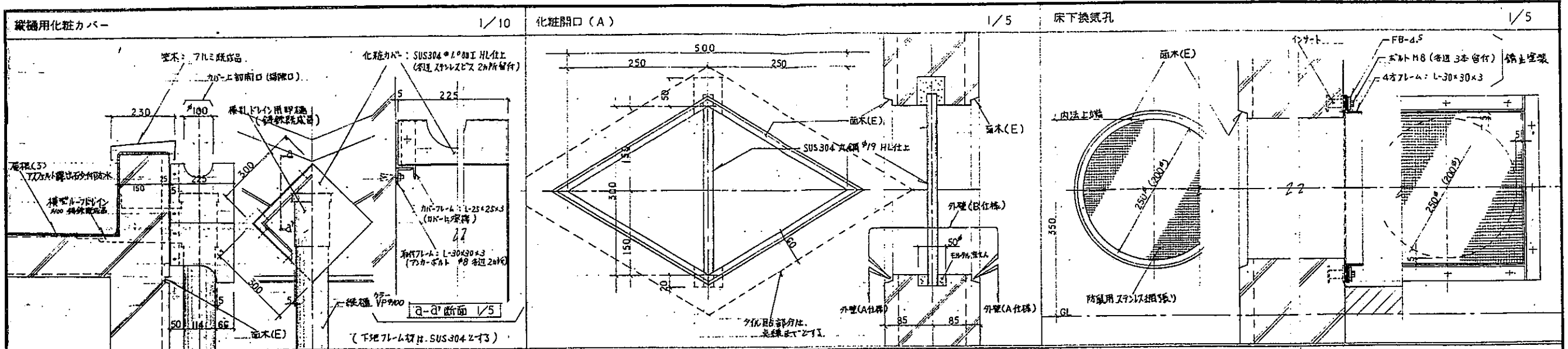
階段平面詳細図 3階



注記: 手引は、特記無き限りB仕様とする。
 耐火間仕切壁: 以外押出成形板

工事名	環状市営東鷹栖団地建設工事 3号棟建築主体工事	日付	担当	東鷹栖団地設計室	No.
図面名	各階 平面詳細図	縮尺	製図	1級建築士 第83913号 森田龍男	A-25

特記事項	工事名	市営住宅東鷹栖団地3号棟外壁改善工事(その2)	設計	都市整備課	日付	令和4年11月	No.
	図名	平面図詳細図(既存参考図)	製図		縮尺		17



目地罫	1/2
符号	d
形状	
使用部位	<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水用Tコ水切目地 洗面台下(1~2階間)の立上り壁内側巾目地 洗面台下(1~2階間)の立上り壁内側巾目地 バルコニー上等の水切目地
符号	e
形状	
使用部位	<ul style="list-style-type: none"> 専有階及び共有階水切目地 専有階外壁化粧目地 1階階下(1~2階間)の階下、10-7"の階下スリット水切目地
符号	f
形状	
使用部位	<ul style="list-style-type: none"> 専有階化粧目地 各階打込目地

面木	符号	A	B	C	D	E	F	G
形状								
使用部位		<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水用Tコ上下コーナー SD-2, SD-3 廻り(外面側) 各階下り壁内面コーナー 階段, 10-7"の底層根面の梁壁垂れ下りコーナー 玄関トド廻り外面コーナー 		<ul style="list-style-type: none"> 雨庇下(1階)化粧(柱壁)コーナー 階段に面する壁コーナー 10-7"の面するコーナー バルコニーに面する柱壁コーナー 洗面台下(1~2階間)1階階下壁の水切コーナー 洗面台下(1~2階間)1階階下壁の水切コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> 階段, 10-7"の底層壁の水平(傾斜)コーナー フェリス上階化粧水切目地 	<ul style="list-style-type: none"> バルコニー外面コーナー 外壁化粧化粧目地 洗面台下(1~2階間)1階階下壁の水切コーナー 化粧開口(B)の円周コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> 各階下り壁外面コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> 専有階化粧目地 洗面台下(1~2階間)の洗面化粧目地 洗面台下(1~2階間)の洗面化粧目地 洗面台下(1~2階間)の洗面化粧目地 各階外壁化粧目地

註記
 工事名 東武市宮東園地建設工事 3号棟建築主体工事
 日付 令和4年11月
 図面名 雑詳細図 [1]
 縮尺 1/10
 東武園地設計室
 設計者 池田 浩二
 製図者 池田 浩二